

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
分担研究報告書

個人情報の取り扱いに関する研究

研究分担者 田中武志 広島大学病院 医療情報部 助教

研究要旨

2011年からテキストを採用し、広島県眼科医会、広島視覚障がい者の問題を考える会などの関係団体と連携を行いながら同行援護従業者の教育・育成を推進している。このテキストをさらにブラッシュアップすることに加えて個人情報に関する記載を追加した。

A．研究目的

視覚障害者が必要とする代読・代筆の支援について、都道府県等の研修会等で活用するための全国共通のマニュアルとなるべき項目を明らかにした標準カリキュラムを作成することを目的とする。特に個人情報の取り扱いについての解説を加える。

B．研究方法

短期間での研究であるため広島市の心身障害者福祉センターで同行援護従事者養成に用いている「同行援護従業者養成研修テキスト」（中央法規出版）（以下、現行テキスト）の代筆・代読部分をベースにすることにした。医療従事者、研究者、当事者団体、行政関係者（広島県、広島市）からなる Working Group(WG)（総勢 20 名程度）を組織した。そのメンバーで現行テキストの問題点、改善が必要な点を明らかにするための情報収集を行い、改善が必要と思われる部分の記載を追加した。WG で現行テキストの問題点、改善が必要な点を明らかにした。視覚障がい者の個人情報保護と援護者の倫理について調査し、具体例の作成、および全体の文章の書き換

えを行った。国際的な障がい者権利の推移、一般的注意事項の記載を行い、テキスト全体のブラッシュアップを行った。特に個人情報の取り扱いに関する記載を担当した。

（倫理面への配慮）

視覚障がい者、関係医療従事者、教育学部（特別支援教育専攻）の学生、関係団体・行政等に対して、インタビューまたは聞き取り式／自記式のアンケートを実施する。調査の前には広島大学倫理委員会の承認を得る。また、本研究は既刊テキスト編集委員会の承諾を得た。

インタビュー、アンケートの際には事前に口頭で本研究の目的を説明した上で、同意に応じた者のみから回答を得る。同意取得のための説明を行った日時、場所、説明者等必要事項は記録を作成する。

アンケートデータを発表または会議資料として用いる際は、職種や当事者としての立場などの必要な情報以外の個人情報を削除し、回答者の個人が特定できないようにする。

インタビュー、アンケートデータの収集・編集に使った情報メディア（用紙、音

声レコーダー、PCなど)は広島大学病院の鍵の掛かる部屋で管理し、研究以外の用途に使用しない。

上記の情報メディアは、研究終了後にデータのコピーをDVD-Rに保存した上で、広島大学の規定に従って消去または処分する。DVD-Rは10年間保存し、不要の際は広島大学の規定に従って処分する。

C. 研究結果

1) 守秘義務

職務上知った秘密を守る」義務があること

2) 個人情報の定義

個人を直接特定できる記号・文字列や身体情報、または複数の情報項目の組み合わせによって個人を特定出来る情報、それら含む情報のこと

3) 個人情報取り扱いの原則

当事者に事前に説明した目的と合致し尚且つ当事者の了解が得られていること

4) 個人情報の種類

個人識別符号

特定個人情報

要配慮情報(機微情報/センシティブ情報)

5) 個人情報保護法の例外について

法令で定められた場合

人の生命、身体または財産の保護のために必要な場合

公衆衛生の向上、児童の健全な育成の推進のために特に必要な場合

地方公共団体等の法令に定める事務の遂行に対し協力する必要がある場合

6) 当事者に対する虐待について

当事者に対する虐待の兆候に気がついた場合の個人情報の取り扱いについて

7) 当事者との間のトラブルについて

当事者との間でトラブルが発生した場合は、その場で、自分の力だけで解決しようとししないこと

以上について詳細に記載した。

D. 考察

実際の同行援護従事者養成研修ではまだこのテキスト案を使用していない。実際の研修での有用性問題点が明らかでない。また、必要とも追われるポイントをすべて網羅した。詳しくすぎる点、他のカリキュラムと重なる点が出てくるかもしれない。今後、研修の場での経験を基に修正する必要がある。

E. 結論

当初掲げたこのテキストをさらにブラッシュアップすることに加えて、1.多言語に対応できるようにすること、2.スマートフォン、タブレット端末などの最新のIT技術の応用できるようにすること、3.個人情報の保護の徹底、を盛り込んだ代読・代筆の支援のための全国共通の新たな標準カリキュラムを作成する。という目的は達成した。

F. 健康危険情報

ない

G. 研究発表

1. 論文発表

田中武志、津久間秀彦、池内実. 視覚障がい者Web Accessibilityに配慮した病院Webpage標準仕様の必要性. 医療情報学, 第36巻第1号 pp.25-31, 2016

田中武志、氏間和仁、藤田利恵. 視覚障がい

者の Web Accessibility に配慮した病院標準
Webpage の試作．医療情報学,35(Suppl.),
1244-1247, 2015

津久間秀彦、島川龍載、渡邊春美、田中武志、
他 6 名．電子診療看護記録の信頼性向上のた
めの真正性の問題点に関する予備的調査～
6W1H モデルに基づく課題整理方法の検討～．
医療情報学, 35(Suppl.), 814-817, 2015
今井康介、他 11 名（12 名中 11 番目：田中武
志）．多職種間の相互理解を目的とした研修
の実施と評価-シリーズ企画 「隣は何をす
る人ぞ?」．医療情報学,35(Suppl.), 466-469,
2015

2. 学会発表

田中武志，氏間和仁，藤田利恵：視覚障が
い者の Web Accessibility に配慮し
た病院標準 Webpage の試作：第 35 回医療
情報学連合大会（宜野湾），2015 年 11 月

H．知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし